

はしやすめ

今回のしやすめは「参拝のマー」です！先日TVを観ていて「はっ！！」とした40を過ぎた私。なんとなくはわかっていたしとかクスクス…潔くはつきり言ってしまうと「知らなかった」…私のような方が他にもいらっしゃる！！と強く思いましたので自分自身への確認も含めこの場を借りて復習しますので、みなさんも一緒に！

まずは、衣服を整え、軽く会釈してから鳥居をくぐりましょう。鳥居の向こう側は神様の空間、参拝はここからもう始まっています！

参道は中央を避け、ゆっくりと歩きます。中央は神様が通るので左右どちらかに寄り、ゆったりとした気持ちで拝礼するための心の準備をしましょう。

できたらかなあ

次に、手水舎(ちょうずや、てみずや等幾つかの呼び方があるそうです)で手水をとり、心身を清めてからご神前に進みます。ここで俗界の穢れをおとします。

「両手と口を清めるため」ということを理解して、「左から右へ」順番に両手と口を清めましょう。

①水を汲み②左手③右手④左手の平に水を受け

⑤口をすすぐ⑥口をすすいだ左手を洗う⑦柄杓の柄を洗う⑧柄杓をふせる
※基本的には、最初に汲んだ水でこれら一連の動作を済ませます。



「二拝二拍手一拝」

拝殿の正面に立ったら、軽く会釈をし、鈴を鳴らします。

鈴は邪なるものを誦う力があると考えられており、鈴の音によって邪気を払うので、きちんと音を鳴らしましょう。

二拝(2回頭を下げたおじぎをする)神様への敬意を表します。

カランコロン♪お祈りする時は自分の名前と住所も忘れずに神様に伝えましょう！

もし祈りが通じたらお礼参りも忘れず

まずは胸の高さで掌を合わせ、右手を少し下にずらして二拍手。

その後、指先をきちんと合わせて祈りを込めてから手を下ろします。

掌をずらすのは、神と人がまだ一体になっていないということ。二度手を打つことで神を招き、その後掌を合わせることで神人が一体となり、祈願を込めて神の力を体得するからだそうです。

最後に一拝をして終了。もう一度おじぎをすることで神を送り返します。

帰りも、鳥居をくぐる時は向きを変えて軽く会釈をして境内を出しましょう。

今回は参拝のマーのひとつの例でしたが、歳をとってもお通夜でのマーだった結婚式のマーだったり、毎回毎回これくらいかなあ…とどなたかたびたび…悩みます。ん？…お？

作法を身につけ素敵大人になりたいです！！
目指せ素敵大人

遊びと仕事について話をさせてもらいます。私は何にでも遊びつくものだと思います。まずは、まだ幼いころの思い出話から…。遊びといえど、今時の子供とは違い外遊びが大嫌いで、海に行ったり山へ行ったりで、自分で言うのもなんですが、かなりのやんちゃ坊主だったように思います。けがなどは日常茶飯事で、周りの人にも多大な迷惑のかけつばをしてました。

ほんの一例ですが、とても暑い夏のある日、たしか友人3、4人で、船外機で仲に泳ぎに出かけました。その帰りに予期せぬ事件が起きたのです…。なんと燃料が切れて漂流してしまい、船に積んであった木の棒で滑り戻り、自分らを探していた船に救助され、岸壁が近付くと結構な人が手を振って迎えてくれました。そのあとそれらの家で雷が落ちた事は言うまでもなく、しかしながらそんな経験は適切ではないと思いますが、友人知人数知れず、言葉交わしは私にとっても大変貴重な財産です。

遊びはもちろんその他いろいろある出来事全て、決して意味はないと思いません。料理のスパイスじゃなくても、ほんのちよつとでも遊びなどを取り入れ仕事の中身を濃くしてみてはいかがでしょうか？



コフモテウっちの 想ひでみゆーじあむ

君は何を志しますか？
大河ドラマ「花燃ゆ」皆さん、観ていますか？ドラマの主人公「杉文の兄「寅」に、吉田松陰は、筆者が好きな幕末時代に生きた偉人の一人です。吉田松陰と言え、長州藩の私塾、松下村塾を開き、その後の維新活動に奔走した高杉晋作や久坂玄瑞、初代内閣総理大臣の伊藤博文など有名な門下生を育成した事は有名だと思います。当時、藩やお家存続の為に常識の時代、孔子・孟子などの儒学を中心に洋学、歴史と様々な学問を身につけ、世界に目を向け、高い志をもつて生涯貫いた短い人生。様々な媒体を通して情報が溢れ、行きたいところに行ける今の時代とは違い、思い通りに学ぶことも知らず、行きたかった世の中で、自分やらねば！と志を掲げ突き進む。信念を貫く！何がそうさせるのか、その力の源は何だ、と思惟しても平和な世の中に生きている自分がその境涯に辿り着くのは皆無に等しいでしょう。筆者自身、吉田松陰が持つ志と信念の強さ、時代を見据えた発想力そして打ち破っていく行動力というものに憧れを感じていると思うのです。

いったん決めた志は変わらない、「計画通りにいかなければいけないほど、志はますます堅くなる。天が我に試練を与えているのである。なんの悩むところがあるのか。」松陰達が下田沖の黒船に乗り込もうとした際に残した言葉ですが、そこにも人とは違う信念と行動力の強さを垣間見ることが出来ます。

大河は引き続き楽しみに見ていきたいと思いますが、松陰が松下村塾で門下生に問っていた「君の志は何ですか？」「志は誰も与えてくれませんが、君自身がみつけてそれを掲げていくしかない。その問いに私は何と応えよう、そしてあなたは何を掲げますか？」

営業部員TGのひとりごと…

～私とリサイクルの出会い～

みなさんこんにちは！
突然ですが、学生時代等にアルバイトの経験はありますか？
飲食店、ガソリンスタンド、コンビニ、etc…
さまざまな、職業が世の中にはありますよね。私も学生時代にいろいろなアルバイトをしてました。お寿司屋の配達、引っ越し屋、コンサートスタッフ、土木作業員…。

いろいろ働いた中で「リサイクルショップ」の経験を紹介させていただきます！
大学4年間をリサイクルショップで働き、自分のおこづか…いえ、大学の授業料捻出の為に土日、祝日や年末年始も休まず、他の人が嫌がる日に率先して働いてました。

業務内容としては、商品販売、買い取り、出張買い取り、買い付け、インターネット店出品・発送でした。その中でも「買い取り」作業は、対象物の状態や世間での人気、ブランド力などを考慮しお持ちいただいたお客様に金額を提示します。また、店舗の在庫状況や来店される年齢層によっても価格を変動させることにより他店舗との地域差別化によるリピーター獲得も視野に入れて行っていました。

その中で、私が担当していた洋服部門では当然ながら世間の流行や幅広いジャンルごとの知識が求められ、毎日頭の上に？を浮かべ、インターネットや雑誌から情報収集をして必死に働いていました。その際に、せっかくお持ちいただいた物の中でも値段をつける事が難しく、廃棄で無料買い取りをするケースが多々あります。

この無料廃棄は、店舗で排出される事業系の一般ゴミとして処分していましたが、塵も積もればなんとやらで1日でゴミ袋10袋～15袋となります。この処理費用も当然お金が掛かります。商品としては、値段が付かないですが着用には問題が無いものが7～8割を占めていました。誰しもがもったいないと思いませんか？私も思っていました。。

そこで、このまだまだ使える物をどうにか再利用(リサイクル)できないかと調べていたところ海外の発展途上国への無料寄付や支援を行っている団体へとたどり着きました。その団体へ洋服をダンボールに詰めて配送をすると、主にアフリカ方面へ仕分けをし配送してくれるというものでした。今まで排出していた「ゴミ」が社会貢献に繋がる。これにより、排出していたゴミ袋の数も1日で2袋～5袋程度まで抑える事ができました。

環境保全へ繋がっていますよね。

当時の私は、この循環に興味津々でした。他にはどんな循環があるのだろう、もっと違うリサイクルを見たいと思うようになりました。この経験が、私を鈴木工業へと導いたのかなーと思う今日この頃でありました。